



夫・秀雄90歳と淳子88歳。お祝いの日のひとコマ

ママ、今まで本当にありがとう。
いつも前向き、明るいあなたは私の宝です。
あなたの風をずっと感じていたい。
そんな溢れる想いを「淳風」と題し冊子に託しました。

2024年9月

野田真規

いつも温かく接して下さった皆様に感謝を込めて。

野田真規

淳風



令和6年8月2日寂
淳風院親徳妙福日京大姉
行年 90歳

10年の記録

最愛の息子、充建を亡くした半年後の2014年春、
母・淳子は脳出血で倒れ、要介護5の人生がスタートしました。
それから10年、持ち前の明るさと前向きな性格でリハビリに励み、
介護に携わっていた皆様のお力添えもあり、左半身不随ながらも
歩くことを目標に、1日も休むことなくデイやリハビリに通っておりました。
毎日「まさちゃん大好き!行ってきます!」
と言って、リハビリに向かう母の顔が私の励みでもありました。
リハビリを兼ね始めた、母が長年習い手が覚えていた「かな文字」と
私のつたない絵の共同作業「絵手紙の時間」は、
ふたりのかけがえのない幸せなひとときでした。
その時々季節、一枚一枚の思い出を母の10年の軌跡として
ここに収めました。



秋

野からの精霊をのせて

花は母・淳子の部屋の窓辺にやってくる

秋の訪れを耳打ちして、

憶い出に染まった

とりどりの色を置いてゆく







11月29日の淳子誕生日
満面の笑顔返し。大好きなりハビリの先生と。

静かな生活に

五感を研ぎ澄まされ、

はらはらと落ちる葉音にさえ

心を動かされて微笑む。

寒い冬もがんばった母・淳子

冬





桜が満開！ 薬師寺を臨む西の京大池でお友だちと。
いつも笑顔の中心にいて、元気のエネルギーをお裾分け。

新しい生命に満ちあふれ、

光も色も風も

惜しみない輝きを放つ春

花々のいろどりと薫りに

目を細めた母・淳子のやさしさ

春







「食べに行く?」「はい!」と手をあげる母・淳子。
食べることが大好き!ほんとうに良い笑顔。

夏

穏やかなときを

ゆっくりと紡ぎながら母と娘、

二人で創る夏の絵手紙

忘れがたい、

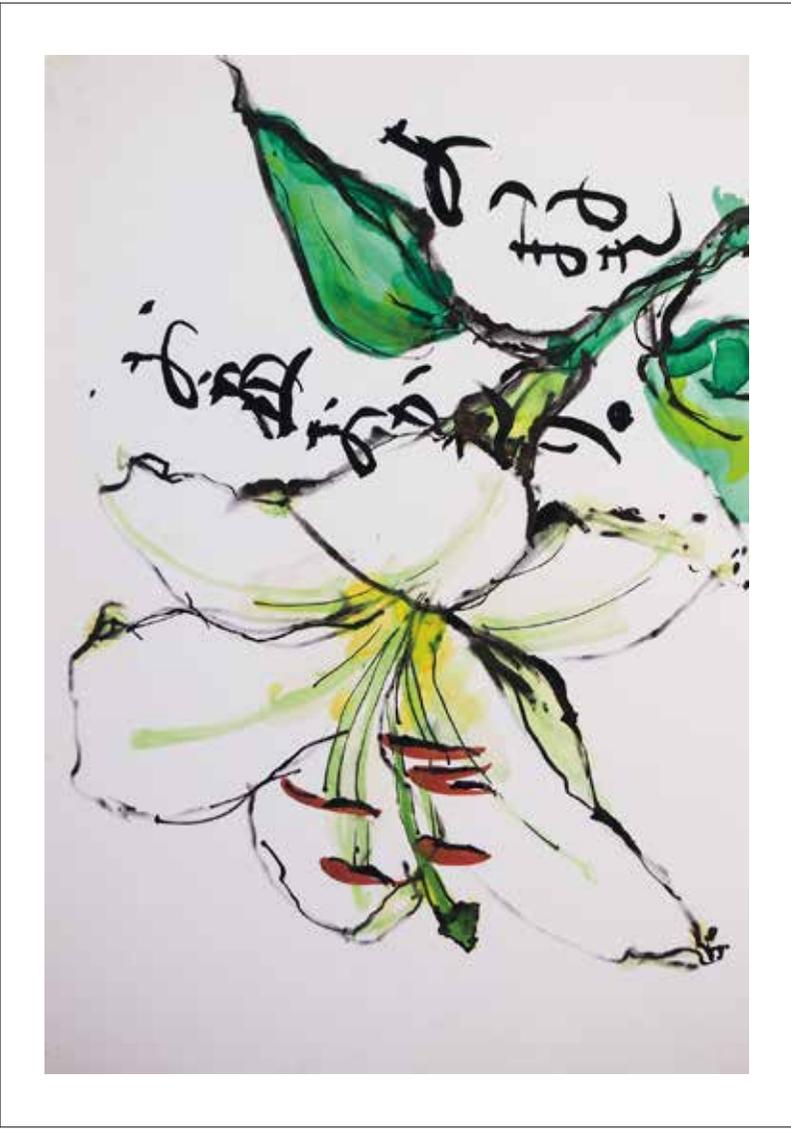
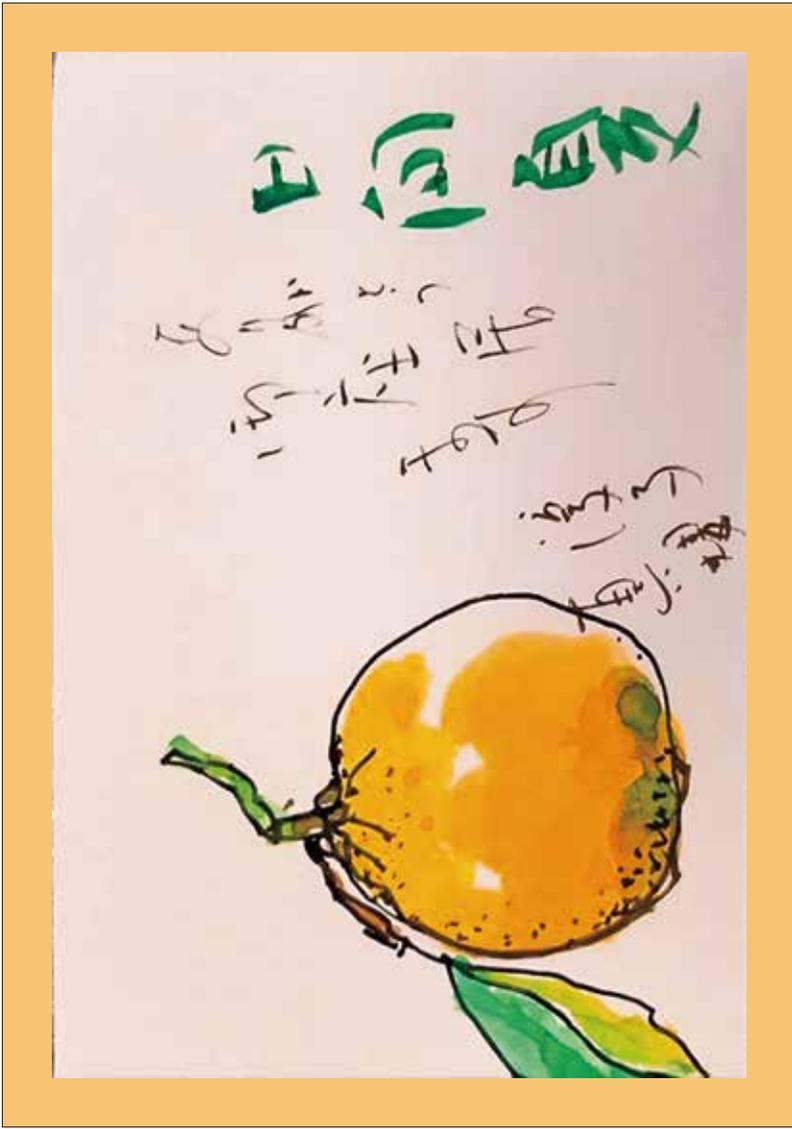
さらさらと筆が流れたときの母・淳子の花笑み







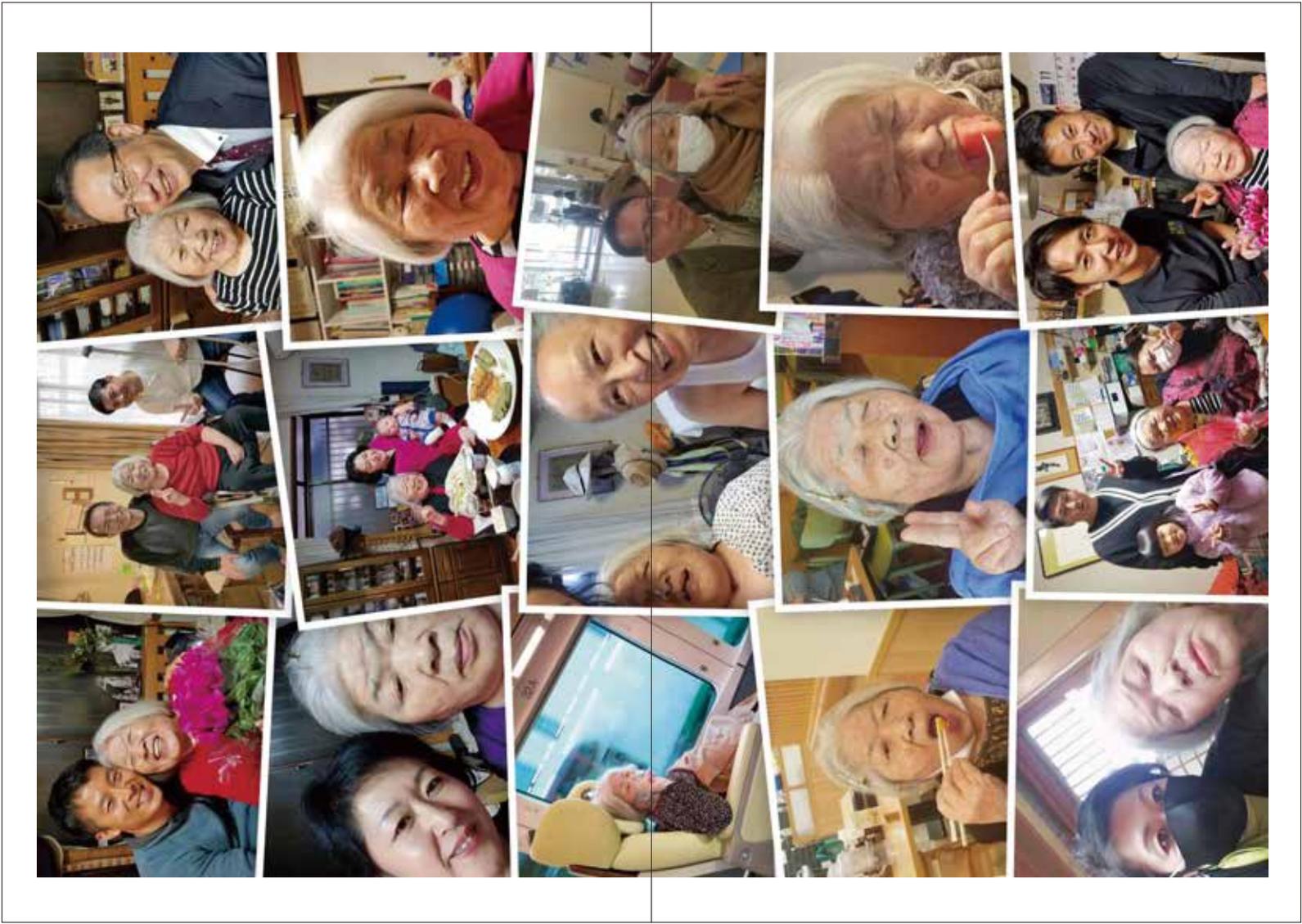


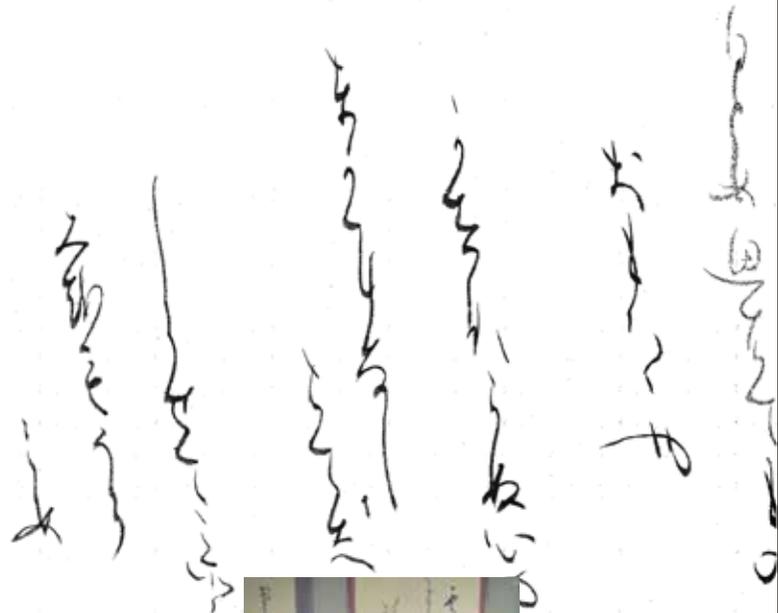




2024年8月2日

Jenny





奈良県出身の著名な書作家 杉岡華邨の高弟に30余年師事し、かな書を学ぶ。



10年をかけて歩けなかった長男・充建(みつたけ)を歩けるようにした母・淳子。一方で福祉活動を自らの使命として燃え、40年間にわたり活発に活動。



野田 淳子
(のだ あつこ)

昭和9年11月29日 生まれ
京都府立城南高等学校卒業

(主な経歴)

- 奈良市肢体不自由児者父母の会会長
- 奈良県立奈良養護学校育友会会長
- 奈良県肢体不自由児者父母の会連合会副会長
- 奈良県肢体不自由児者父母の会連合会会長
- 全国肢体不自由児者父母の会連合会理事
- 奈良県肢体不自由児者父母の会連合会相談役
- 東大寺療育病院評議員
- 中川会評議員
- 奈良県身体障害者相談員
- わかさ理事
- はあと評議員

(賞罰)

- 奈良市長感謝状
- 全国肢体不自由児者父母の会連合会表彰状
- 奈良市心身障害者福祉協会連合会表彰状
- 全国肢体不自由児養護学校PTA連合会感謝状
- 奈良県知事表彰状
- 厚生労働大臣表彰状
- 内閣総理大臣表彰状

昭和46年、「心理療育キャンプ」発足
昭和60年、障害者の働く場「わかさの店」開設
平成3年、「南部諸大寺チャリティー墨書展」スタート
今でも継続していることを何よりも喜んでいました。



これからは50歳で逝った
大好きだった息子の充建とともに。